

不登校生の学習指導について(その2)

2023.3.25(土)

いくつかの指導例について

数専ゼミが不登校の生徒の学習指導を始めたのは40年以上も前になります。
不登校というのは、今に始まったものではなく、昭和の時代からあったものです。

過去に数専ゼミが扱った不登校生の指導のいくつかについて紹介します。

(個人名が特定できないように少しぼかしてありますので、ご了承ください。不確かな内容には触れず、事実のみ記載します。)

(1) 附中→山形東→海外の高校へ進学した生徒の場合

中学の間は、学校では別室個別指導を受けていたが十分な指導を受けることができず、山形東高を受験したが失敗。浪人中に数専ゼミで指導を受け、次の年に山形東高に合格。この生徒は、浪人中に、民間の全国テストを受験し、数学で全国1位となっています。山形東に入学したものの授業になじめず退学、その後海外の高校へ留学しています。

(2) 山形東高生で、数学以外が抜群の成績で、数学で点がとれなくても東高へ合格できた生徒というのがけっこうあります。そういった生徒が高校の数学の授業で出会うよくあるケースですが…

そのような生徒には、数学のテストが19点とか25点しか取れないことが起こります。勉強しなければならぬのはよくわかっているのですが、とにかく参考書の1行目から理解できない。勉強しないのではなく、できないのです。

賢いだけに悩みます。精神的にも不安定になり、学校へは行けなくなります。

そんな中、数専ゼミに相談にいらしたケースです。

中学レベルから理解できないので、指導に困難を極めました。

結局、塾でもうまくいかず、塾をやめました。その後、学校もやめてしまったというウワサをききました。

中学あるいは小学の頃から基礎を固めながら学習を進めていけば、と悔やまれます。

具体的な学習指導について

中学生を例として…

(1) できれば国語、数学、英語は塾で習っていただきたいと思っています。

塾の通常の授業で使う教材を使って「学力化学習法」で指導します。

学力の到達点を”見える化”しつつ学習を進めていく指導法です。

「学習計画書」(单元ごとにある)をもとにして学習を進めていく指導法です。

「学習計画書」は、生徒、保護者、教師が共有できる生徒の学力の成長記録であり、学習のチャートでもあります。

今、何をどのように学習すべきかが目に見える形で表示されています。

ここには、生徒の次の学力内容が記録されます。

- ①学習目標 その単元では、どのような問題が解けるようになるべきかについての一覧表
- ②到達点 解けた問題には○がついています。

間違えたり、解けなかった問題には×がついています。

「×問題」については、塾で解けるようになるまで指導をします。

かつ、家で解答を見ないでも解けるようになるまで練習してきていただきます。

この家での練習の過程でのみ学力が形成されます。

だから、ここをやらないと学力は身につかないということです。

塾で学んでいても学力の伸びない生徒は、例外なく、この家での復習をしていません。

- ③次回の授業時に、前回×であった問題のチェックテストを行います。

解ければ「計画書」の問題に○がつきます。

解けなかったときには×がつきます。このときは、再度復習指導します。

「学習計画書」の実物サンプルはこちらからご覧になれます。

→Link: | 中1方程式「学習計画書」 |

この「学力化学習法」についての詳細な説明は、こちらからご覧になれます。

→Link: | 数専ゼミ・学力化学習法 |

不登校のときの学習の場を提供しています

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp